

医療入門

責任者・コーディネーター	教科課程部会長		
担当講座・学科(分野)	医学部、産婦人科学講座、医学教育学分野、地域医療学分野、災害医学講座		
担当教員	佐藤 洋一 医学部長、杉山 徹 病院長、三浦 幸枝 看護部長、遠藤 秀彦 非常勤講師、佐藤 元美 非常勤講師、眞瀬 智彦 特命教授、伊藤 智範 教授、相澤 純 助教		
対象学年	1	区分・時間数	講義 15.0 時間
期間	通期		実習 72.0 時間

・学習方針（講義概要等）

6年間にわたる医学教育の early clinical exposure の第一段階として位置づけられる。臨床医学および医療の現場の一端にふれ、将来すぐれた医師になることを目指して努力するモチベーションを与える。シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

・教育成果（アウトカム）

early clinical exposure の第一段階として、医療・医療行政・看護・介護の現場の一端にふれることで、医療のプロフェッショナリズムを早期に学習し、医学生としての自覚を高めるとともに、医学専門教育を受ける厳しさを身につけることを目的とする。

・到達目標（SBO）

- ・医療・看護の現場を体験し、医療における医師・看護師の役割、チーム連携、責任体制について説明できる。
- ・介護の現場を体験し、保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。
- ・患者・介護施設入所者とのコミュニケーションを通じて、良好な人間関係を築くことができる。
- ・介護施設入所者、高齢者に対する医療、社会保障の問題を考え、問題点を抽出・整理できる。
- ・地域医療の現状の把握と問題点を抽出し、解決法を考察することにより、地域医療の実態を把握し、見識を深めその重要性和本質を理解する。

・ 講義日程

(矢) 西 101 1-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/18	月	4	医学部	佐藤 洋一 医学部長	医学・医療の現況と展望
4/25	月	4	医学部	杉山 徹 病院長	附属病院の現状と今後のあり方
5/9	月	4	医学部	遠藤 秀彦 非常勤講師	【特別講演】地域医療について 1
5/16	月	4	医学部	佐藤 元美 非常勤講師	【特別講演】地域医療について 2
5/23	月	4	医学教育学分野	佐藤 洋一 教授	医療プロフェッショナリズム講義 プロフェッショナリズムとは何か、説明できる。 医療プロフェッショナルに求められているコンピテンシーを列挙できる。 違法性の阻却について例をあげて説明できる。 利益衡量能力について例をあげて説明できる。 ミレニアム医師憲章にうたわれている事を説明できる。 プロフェッショナリズムを評価するやり方を説明できる。
6/1	水	4	医学部	三浦 幸枝 看護部長	我が国の看護・介護の現状
6/15	水	3	医学教育学分野	相澤 純 助教	医療学入門 グループ 13~24 (医歯薬総合研究所見学 グループ 1~12) 初歩的な救急蘇生法を実践できる。 医療プロフェッショナルに要求される救急蘇生法を説明できる。 医療現場で求められる救急蘇生法の修得にあたって、今後、何が必用か列挙できる。 (災害時地域医療支援教育センター)

					一)
6/15	水	4	医学教育学分野	相澤 純 助教	同上
6/22	水	3	医学教育学分野	相澤 純 助教	医療学入門 グループ 1~12 (医歯薬総合研究所見学 グループ 13~24) 初歩的な救急蘇生法を実践できる。 医療プロフェッショナルに要求され る救急蘇生法を説明できる。 医療現場で求められる救急蘇生法の 修得にあたって、今後、何が必用か 列挙できる。 (災害時地域医療支援教育センタ ー)
6/22	水	4	医学教育学分野	相澤 純 助教	同上

【実習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
7/25	月	1	地域医療学分野	伊藤 智範 教授	医療体験実習
7/25	月	2	地域医療学分野	伊藤 智範 教授	医療体験実習
7/25	月	3	地域医療学分野	伊藤 智範 教授	医療体験実習
7/25	月	4	地域医療学分野	伊藤 智範 教授	医療体験実習
7/26	火	1	地域医療学分野	伊藤 智範 教授	医療体験実習
7/26	火	2	地域医療学分野	伊藤 智範 教授	医療体験実習
7/26	火	3	地域医療学分野	伊藤 智範 教授	医療体験実習
7/26	火	4	地域医療学分野	伊藤 智範 教授	医療体験実習
10/18	火	1	教科課程部会長		看護・介護体験実習

10/18	火	2	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/18	火	3	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/18	火	4	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/19	水	1	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/19	水	2	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/19	水	3	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/19	水	4	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/20	木	1	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/20	木	2	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/20	木	3	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/20	木	4	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/21	金	1	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/21	金	2	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/21	金	3	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/21	金	4	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/24	月	1	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/24	月	2	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/24	月	3	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/24	月	4	教科課程部会長		看護・介護体験実習

10/25	火	1	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/25	火	2	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/25	火	3	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/25	火	4	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/26	水	1	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/26	水	2	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/26	水	3	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/26	水	4	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/27	木	1	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/27	木	2	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/27	木	3	教科課程部会長		看護・介護体験実習
10/27	木	4	教科課程部会長		看護・介護体験実習
11/30	水	1	教科課程部会長		地域医療見学研修訪問日
11/30	水	2	教科課程部会長		地域医療見学研修訪問日
11/30	水	3	教科課程部会長		地域医療見学研修訪問日
11/30	水	4	教科課程部会長		地域医療見学研修訪問日
12/21	水	1	教科課程部会長		地域医療見学研修発表会
12/21	水	2	教科課程部会長		地域医療見学研修発表会
12/21	水	3	教科課程部会長		地域医療見学研修発表会

12/21	水	4	教科課程部会長		地域医療見学研修発表会
-------	---	---	---------	--	-------------

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	全人的医療入門ーすべての医療関係者のために	中井吉英	中山書店	2013

・成績評価方法

- ・講義レポート 20%
- ・医療体験実習 20%
- ・地域医療見学研修 20%
- ・看護・介護体験実習 40%

◎講義レポート

次の講義終了後に、講義で学んだ事等を800字のレポートをまとめてwebclassで提出する。提出期限については、講義終了後2週間以内とする（実際の提出期限は掲示する）。

- ①4/18 医学部長 ②4/25 附属病院長 ③5/9 中部病院長 ④5/16 藤沢病院長
 ⑤5/23 医療プロ ⑥6/1 看護部長 ⑦6/15 または 6/22 医療学入門

◎医療体験実習・地域医療見学研修の評価内容

- ①学習・発表会・ポートフォリオの提出・内容
 ②感想文提出・内容

◎看護・介護体験実習の評価内容

- ①態度評価点
 1) 介護施設および看護部から提出された評価票の内容
 ※介護実習については、施設訪問教員による評価も含む。

◎その他、特別講義の出席状況とレポート提出・内容の評価が加味される。

・特記事項・その他

【各実習等の概要】

◎医療体験実習

県内外の病院に班ごとに行き、2日間の医療機関での実習を通して、実際に医師の行う医療行為やチーム医療を肌で感じ、医師の果たしている役割を理解する。

◎地域医療見学研修

医学総論の中で地域医療に関する特別講義を受けた後、グループに分かれ、地域医療に関する疑問や意見をまとめ、調査・見学する地域・対象を選択し、アポイントを取り訪問する。訪問の結果をグループでとりまとめ、発表会にて発表する。

◎看護・介護体験実習

1学年を2グループに分け、看護と介護の実習を1週ずつそれぞれ交互に行う。

- I. 病院における看護体験実習（本学医学部附属病院、附属花巻温泉病院および盛岡市立病院）
- II. 介護体験実習受入応諾の各種施設における介護体験実習

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			